

# 医療安全管理者 養成講座

## eラーニング&集合研修



信頼される安心を、社会へ。

**SECOM**

セコム医療システム株式会社は、厚生労働省認定のeラーニング&集合研修「医療安全管理者養成講座」を開催しています。

eラーニングは、パソコンがインターネットに繋がる環境にあれば、いつでも何度でも視聴でき、ご自身のペースで学習ができます。

「医療安全対策加算」の基準を満たすプログラムで、eラーニングによる学習と、1日の「集合研修」を含んだカリキュラムです。

### セコムのeラーニングの特徴

- ① 職種を問わずどなたでも受講可能
- ② 初めての方でも無理なく学べる
- ③ 一流講師陣による丁寧な指導
- ④ クオリティの高い教材

受講修了者には厚生労働省認定の「医療安全管理者養成講座修了証」を発行いたします。「医療安全」について“今学びたい”“より理解を深めたい”方は、この機会にぜひご参加ください！

### <◆今までの受講者からの声◆>

講師陣が豪華で、広く深い講義が多く楽しかった

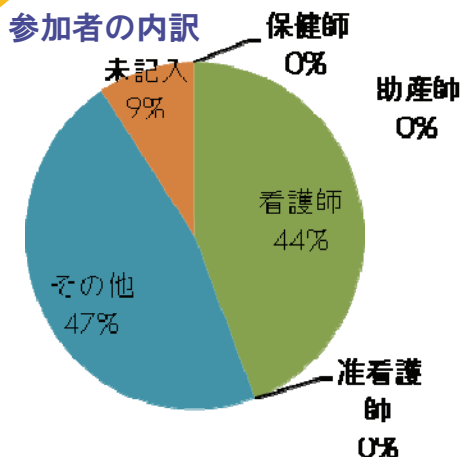
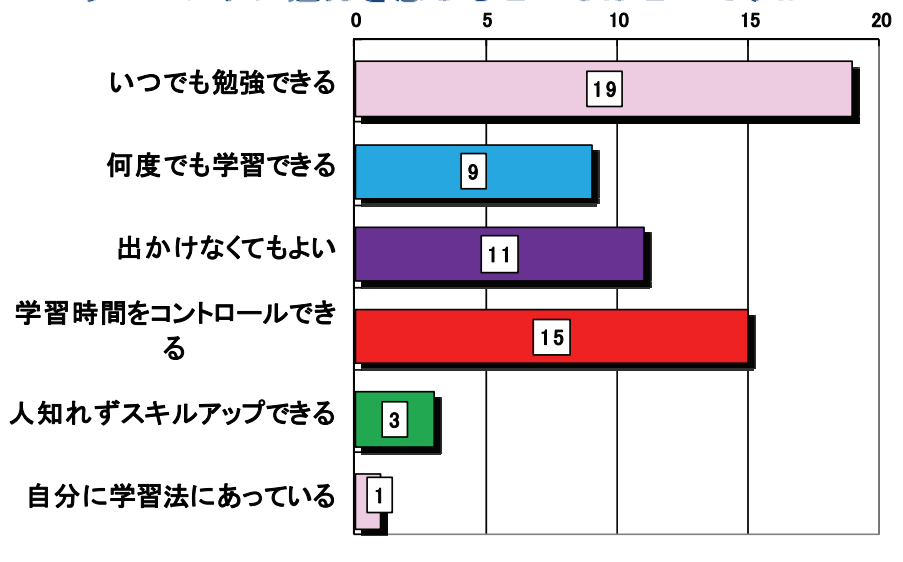
医療安全の基本的なことから全体的なことまで体系的に学ぶことができました！

自分の都合で学ぶことができ、参加してよかった

安全への考えを変えることができた



### eラーニングに魅力を感じる場所はどこですか



看護職ばかりでなく、ME・リハ・検査・薬剤・栄養・介護福祉・一級建築士・医事課/総務課等、多職種の方々にご参加いただいています。

医療有資格者以外の参加者は、「医療安全管理者」の資格は得られませんが、その中でも、病院の安全風土醸成の学ばれる熱心な姿勢が伺われます。

## eラーニング 詳細について

- 1.コース名：平成26年度第2回医療安全管理者養成講座
- 2.主催：セコム医療システム株式会社
- 3.共催：株式会社 キューラ メディクス
- 4.対象：医療機関職員、医療安全に関心を持つ方
- 5.申込期間：2014年4月15日～ 5月31日
- 6.受講期間：2014年6月1日～ 11月30日
- 7.受講料：一人 50,000円(集合研修費を含む)
- 8.集合教育：東京開催2014年9月 6日(土) 原宿セコム本社ビル (予定)  
大阪開催2014年9月13日(土) 場所未定 (予定)  
(研修予定時間:9時30分～16時30分)
- 9.講座の内容：別紙参照
- 10.受講者のパソコン推奨環境

回線	光、ケーブルテレビ回線ブロードバンド	
《Windows》 OS	Windows VISTA, 7,8	
ブラウザ	Internet Explorer 8.0以上	
プラグイン	FlashPlayer10.0以上	
《Mac》 OS	MacOSX	
ブラウザ	Safari、Firefox	★いずれも最新の状態にアップデートして下さい。
プラグイン	FlashPlayer10.0以上	
- 11.お申込み方法:以下の必要事項をご記入の上、eメールにてお申し込み下さい。

①お名前 (フリガナ) ②住所・連絡先 ③勤務先名 ④所属 ⑤職種 ⑥Eメールアドレス

お預かりしましたお名前・ご住所等の個人情報は、本研修を運営するためのみに使用し、他の目的への使用・外部事業者への預託・第三者への提供は行いません。  
ご同意の上、お申し込みいただきますようお願いいたします。

### お問い合わせ・お申込み

セコム医療システム株式会社 運営監理部  
担当 築地祐美子  
Tel 03-5775-8030  
Fax 03-5775-8903  
メールアドレス iryo-anzen@secom.co.jp



# 平成26年度医療安全管理者養成講座カリキュラム

- 【1】 医療の質と安全  
横浜市立大学 名誉教授 橋本 廸生  
(公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事)
- 【2】 医療安全の原理  
横浜市立大学 名誉教授 橋本 廸生  
(公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事)
- 【3】 医療安全の組織戦略  
横浜市立大学 名誉教授 橋本 廸生  
(公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事)
- 【4】 厚労省および日本医療機能評価機構における医療安全の取組み  
公益財団法人 日本医療機能評価機構 評価事業部 副部長 遠矢 雅史
- 【5】 医療メディスン 対話による紛争調整  
稲田大学大学院法務研究科 教授 和田 仁孝
- 【6】 医薬品の安全管理体制  
横浜市立大学附属病院 薬剤部 小池 博文
- 【7】 医療機器の保守・安全使用に関する体制  
横浜市立大学附属病院 MEセンター臨床工学技士 並木 陽明
- 【8】 チーム医療における患者情報の共有  
横浜市立脳血管医療センター 医療安全管理室 佐竹 信子
- 【9】 KYTの実際と職場導入のポイント  
セコム医療システム(株) 細川香代子
- 【10】 医療事故を防止するための情報収集、分析、対策立案、フィードバック、評価 (前編 後編)  
聖路加国際病院 QIセンター医療安全管理係 セーフティマネジャー 寺井美峰子
- 【11】 RCA (根本原因分析) について  
公益財団法人 日本医療機能評価機構 菅原 浩幸
- 【12】 自らに自ら気づく  
横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療安全管理室 荒井 稔
- 【13】 医療の歴史認識  
横浜市立大学 名誉教授 橋本 廸生  
(公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事)
- 【14】 医療安全のキーワードを活かす対策  
横浜市立大学 名誉教授 橋本 廸生  
(公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事)
- 【15】 医療安全の水平展開と垂直展開  
横浜市立大学 名誉教授 橋本 廸生  
(公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事)
- 【16】 手術室における医療安全管理  
国立病院機構横浜医療センター 菊地 龍明
- 【17】 医療関連感染予防対策と医療安全 ～薬剤師の立場から～  
岩手医科大学附属病院 医療安全管理部 薬剤師 小野寺直人
- 【18】 信頼性・安全性工学から医療を検証する  
電気通信大学 大学院情報システム学研究科 教授 田中 健次
- 【19】 医療安全をリードする看護管理者の役割と行動  
北里大学東病院 看護部長 花井 恵子
- 【20】 市民社会と医療安全  
札幌医科大学・医療人育成センター・教育開発研究部門 山本 武志

- 【21】 医療安全をリードする病院の管理者と行動  
上尾中央総合病院 院長 徳永 英吉
- 【22】 高齢者ケアと医療安全  
千葉大学大学院看護学研究科 教授 緒方 泰子
- 【23】 ハイリスク薬とがん化学療法  
N T T東日本関東病院 医療安全管理室 薬剤師 栗原 博之
- 【24】 院内救急システム：RRS～医療安全を変えるシステム～  
院内急変対応チーム  
東京ベイ・浦安市川医療センター センター長 藤谷 茂樹
- 【25】 院内救急システム：RRS～医療安全を変えるシステム～  
RRS起動例とノンテクニカルスキル  
北里大学病院 RST/RRT室 主任 小池 朋孝
- 【26】 院内救急システム：RRS～医療安全を変えるシステム～  
気づき/ 要請levelと対処～要請側と対処側の教育～  
北里大学病院 RST/RRT室 集中ケア認定看護師 森安 恵実
- 【27】 院内救急システム：RRS～医療安全を変えるシステム～  
院内急変対応—院内教育—  
医療法人医誠会 医誠会病院 副院長・救命救急科部長 川嶋 隆久
- 【28】 院内救急システム：RRS～医療安全を変えるシステム～  
Rapid Response Systemの構成と問題事例  
大阪市立総合医療センター 集中治療部 部長 安宅 一晃
- 【29】 院内救急システム：RRS～医療安全を変えるシステム～  
周術期院内急変  
名古屋大学大学院医学系研究科 救急集中治療医学講座 高橋 英夫
- 【30】 院内救急システム：RRS～医療安全を変えるシステム～  
院内急変対応について ～院内心肺停止の前例登録から見えてくるもの～  
静岡県立総合病院 野々木 宏

**計45時間（含テスト）**

（注：講師、講義の内容には、変更がありうることをご了承お願いします）  
(2014.4.15)

